

# 活動報告書

報告者氏名：大野 寿久 所属：広島県立庄原特別支援学校 記録日：平成 24 年 10 月

## 【対象児（群）の情報】

- ・ 学年  
高等部第 1 学年の女子生徒 1 名
- ・ 障害名  
知的障害
- ・ 障害と困難の内容  
初めてのことや慣れていない活動等には、言葉だけの指示理解が難しい。また、細かいものを見ることが苦手である。

## 【活動目的】

- ・ 当初のねらい  
就業体験初回として行った校外での図書館業務で本の整理が一人のできるようになることをねらった。
- ・ 実施期間  
平成 24 年 9 月 19 日（水）
- ・ 実施者  
大野 寿久
- ・ 実施者と対象児の関係  
学級担任

## 【活動内容と対象児（群）の変化】

### ・対象児（群）の事前の状況

対象生徒は将来図書館業務を仕事にしたいという希望があり、就業体験で図書館業務をすることが決まった。初めての経験であることや校外での実習に不安を抱いていた。

### ・活動の具体的内容

図書館内職員の指導員に iPad を活用して仕事内容等を指導してもらえるように対象生徒から依頼した。

まず、指導員が事前に図書館内の本棚に数字の番号を振り、番号の書いた図書館内の配置図を作成して下さっていた。それをズーム機能で細かい文字などを拡大して見られるようにカメラで撮影し iPad 内に取り込み、常に持ち運んで利用しながら仕事を進めた。

次に、本にアルファベットが記入してあり、アルファベット順に本を整理する必要があったが、アルファベットの順番がすぐに分からなかった対象生徒は、指導員に「アルファベット表を書いてください。」と書き込みアプリ「White Board」でお願いをし、一目で分かる表を手書きで作成してもらったり、分からないことなどを言葉と同時に文字で書いてもらいながら指示を受けたりし、図書館業務を体験した。

### ・対象児（群）の事後の変化

初めて会った指導員の指示をスムーズに理解することができ、初めての経験であった本の整理業務を最後まで一人で行うことができた。

## 【報告者の気づきとエビデンス】

### ・主観的気づき

対象生徒は初めての経験等に苦手意識が強かったが今回の苦手なことを補ってくれるツールがあると自分も一人でさまざまなことができるという経験で自信が付き、さまざまな活動に対して、積極性がでてきた。

### ・エビデンス（具体的数値など）

将来の就労先として図書館業務を希望していた対象生徒であったが就業体験前は、「私には難しくてできないと思います。」等と発言し、消極的な態度であった。就業体験が決まり、不安を口にしていた生徒がであったが実習が始まり、iPad による視覚的な支援があることで実習の後半頃からは、自信が満ち溢れた表情を浮かべ、作業を黙々と一人でこなしていた。実習終了後は、「また、図書館での仕事をしてみたいです。」との発言も聞くことができた。

### ・その他エピソード（画像などを含めて）

iPad を使用したことがない指導員であったが、手書き等の簡単な操作だけでできるアプリのみ使用したことでスムーズに活用してもらえたことも良かった。



本棚に数字番号を貼り、配置図を作成。それをカメラで撮影し、iPad 内へ。ズーム機能を活用。



アルファベット表を作成してもらい、作業している様子。



指導員から仕事内容等を言葉だけではなく、文字にしてもらいながら説明を受けている様子。

